

愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介 (43)



ハンス・ウェグナー
HANS J. WEGNER
チャイニーズ・チェア (4283)
チェリー材 革張り
82.0 × 57.0 × 53.0cm



ハンス・ウェグナー
HANS J. WEGNER
Y・チェア (CH24)
オーク材 ペーパーコード
73.0 × 55.0 × 52.0cm

ハンス・ウェグナー チャイニーズ・チェア (4283)、Y・チェア (CH24)

ハンス・ウェグナーというデンマーク人デザイナーの名前を知らなくても、その代表作であるY・チェア (CH24) を知っている人は多い。言うまでもなく、世界中で最も日常使用されている椅子の“傑作中の傑作”とも言える製品である。

1914年ドイツ(当時)で生まれたハンス・ウェグナーは、13歳から家具職人の下で修行を始め、17歳で指物師のマイスター資格を取得した。その後国立産業研究所に進み、木材について研究を深め、23歳の時コペンハーゲン美術工芸学校に入学し、家具デザインを学んでいる。職人の技術と美術工芸学校でのデザイン教育は、彼に“デザインは生活と深く関わるものであり、安価で使い易くあるべき”と言うデザイン理念を強く印象付けさせていた。

Y・チェアの美しい造形の源流を遡れば、中国・明王朝の椅子(クアン・イ)に辿り着く。その優美で美しい曲線と、特に体に沿うような背もたれの曲線にウェグナーは強い感銘を受けると同時に、人間工学的な面からも、多くの知見を得ていた。そしてデザインされたのが、チャイニーズ・チェアである。

中国の雰囲気を感じさせるチャイニーズ・チェアではあるが、高度な木工技術と高価格により、一般市民には縁遠い椅子であると判断したウェグナーは、部品点数を減らし、大量生産によるコストダウンを図ることにより、多くの人たちに提供できると考えた。幾多の試作を経て、Y・チェアは1950年に誕生した。

曲げ木の技術はより軽量化につながり、部品点数の軽減はチャイニーズ・チェアのクラシカルな造形を、Y・チェアのシンプルでモダンな造形美に昇華させている。アームを短くすることで、ささえ木の本数を減らし、その名前の由来とも言える“Y”の背板にすることで、更なる軽量化が達成されている。

優れたデザインは美術館だけで鑑賞可能な芸術作品ではなく、世界中の国々で、世界中の人々に愛され、安価に提供されるものでなければならない。Y・チェアは、まさしくハンス・ウェグナーのデザイン理念を、見事に語り続けている。

(美術学部デザイン専攻 教授 中島 聡)